

《入選》

差別を無くすために

彦根中学校 2年

やすだ あやね
安田 絢音 さん

「人の世に熱あれ、人間に光あれ」これは百年前に創立された全国水平社の宣言文の一節です。「水平社宣言」は、「日本人初の人権宣言」とも言われており、長い歴史の中で不当な差別を受けてきた人々の痛切な思いと共に、お互いを尊敬し合うことによってすべての人々があらゆる差別を受けることなく、人間らしく生きていける社会の実現を願う気持ちが込められています。

私は最近、人権学習で全国水平社に関して学び、差別を無くすために大切なのは同情や哀れみではなく尊敬の

気持ちだと知ることができました。最近では人種差別や男女差別など様々な差別が人権問題として取り上げられるようになったり、多様性をより尊重する社会になりつつあるなど、人権問題に対する意識が高まっています。これは全国水平社が結成されたことが少なからず影響しているのだと思います。一方、コロナ禍での差別やネットでの誹謗中傷など、新たな人権問題も発生しています。特にネットの誹謗中傷は他の問題よりも私たちの身近にある問題で「自分も知らないうちに差別してしまっているかもしれない」と差別の恐ろしさを感じました。多くの人が自由に意見を述べることができるようになったからこそ「差別はだめだ」と思っているだけではなく、積極的に発言したり行動に

移し、周りも自分自身も変えていくことが大切だと思います。

全国水平社が目指した「すべての人の人権が尊重される社会」を実現させるために、尊敬の気持ちを忘れず、差別に対する理解を深めていきたいです。